

保幼小中一貫教育だより ～豊かな自然と豊かな人材で豊かな子どもを育てる～



豊能の風

発行：豊能町教育委員会 第39号 R3. 2. 1

豊能町小中一貫教育推進研究会 全体授業実践発表会

令和3年1月27日に各小中学校で、豊能町の小・中学校の先生と一緒に授業を行う「小中乗り入れ授業」のDVD視聴会が行われました。この取り組みは、「小・中学校の教職員が合同で授業研究を行い、9年間の学びの系統性や教科の特性を多面的に理解することで、発達段階に応じた指導方法の工夫・改善について共有し、教職員としての資質向上を図る」ことを目的に、昨年度よりスタートしました。

今年度は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、一か所に集合しての開催は難しいと判断し、事前に授業を撮影しそのDVDを視聴するという形で開催しました。

学年	教科	授業者 (TT)	授業内容
5年	算数	(小) 教諭	「円と多角形」
		(中) 教諭	
6年	体育	(小) 教諭	「体づくり運動」 ～ジャベリックスロー～
		(中) 教諭	



小中の先生で事前に打ち合わせをし、当日の授業に向けて授業づくりに取り組みました。当日は、小中の先生が連携し、教科の系統性を意識した授業が展開されました。

子どもたちは、最後まで集中力を切らすことなく、主体的に授業に取り組んでいました。

次号では、授業を視聴された先生方の感想等も掲載する予定です。

上段…算数の授業の様子

下段…体育の授業の様子

本物に学ぶ 達人に学ぶ ～東能勢小学校 書道の授業～

1月22日(金)、東能勢小学校で書道の授業が行われました。箕面市の小学校で長きにわたって勤務された新貝廣二先生をゲストティーチャーに招き、3～6年生に指導していただきました。

6年生の授業を参観させていただきましたが「字がうまいだけではあかん。名前、印とのバランスが大事。」と色紙に書くときのポイントをわかりやすく教えてくださいました。子どもたちは、お手本を見ながらゆっくりと筆を運び、丁寧に仕上げていました。そして、「ずれないようにしないと。」と最後に手作りの印を押すときまで気の抜けない様子でした。



豊能町の各学校園所では、色々な知識や経験を持つ方をゲストティーチャーとして招き、子どもたちに様々なことを指導していただいています。その道の達人が語る言葉は、「生きた」「本物」の体験や情報として子どもたちは受けとめることができます。

本町が推進する保幼小中一貫教育でも、様々な人と出会える機会を大切にし、子どもたちの「確かな学び」「豊かな心」を育てていきます。

「とよの未来科」創設にむけて ～ふるさととよの⑦～

【豊能町の石の文化財①】

豊能町では、数多くの石の文化財が見られます。豊能町で採掘される石材は、主に石英閃緑岩と呼ばれる石で、石質が硬いため彫刻はしにくいのですが風化剥落しにくい特徴があります。そのため、文化財は古来よりその姿かたちを大きく変えることなく、今に受け継がれています。



中でも、切畑川の十三橋の傍らにある「余野十三仏」は有名です。上部には三尊像(3つの仏像が1組になっているもの)、下部には17体の地藏立像(お地藏さん)が彫られています。左側面には「本願道清 永禄7年 二月時将日」と刻銘があり、建立した人物や目的、時期をよむことができます。(下記のリンクで詳しく調べられます。)

他にも、様々な石の文化財があります。今後、少しずつ紹介していきます。

<http://www.town.toyono.osaka.jp/page/page001883.html>